

救急部門

【一般目標（GIO）】

生命や機能的予後にかかわる疾患における症状の把握および理解、それらに対する必要な検査と救急医療システムや災害医療システムを理解し、救急疾患の基本的な能力を身につける

【行動目標（SBOs）】

- ① 救急医療システムを理解する
- ② バイタルサインを把握し、身体所見をもとに診療録へ適切に記載することができる
- ③ 重症度と緊急度を判断し、複数患者搬送時に治療優先順位を判断できる
- ④ 救急医療に必要な検査手技を理解し、適切な検査をすることができる
- ⑤ 診察所見や検査所見をもとに、治療方針を立案できる
- ⑥ 救急医療に必要な各種基本手技の実践ができる
- ⑦ 頻度の高い救急疾患・外傷の初期治療に参加できる
- ⑧ 医療用モニターの測定原理を理解し、評価することができる
- ⑨ 専門医へ適切にコンサルテーションできる
- ⑩ 二次救命処置（ACLS）ができ、一時救命処置（BLS）を指導できる
- ⑪ 患者の全体像を包括的に把握して診療を行なうことができる
- ⑫ 外傷患者に対する系統的な診療手順を理解する

【研修方略（LS）】

- ① 救急外来での実務研修（On-the-Job Training：OJT）を行う
- ② 指導医・主治医の指導の下、患者の診察や治療計画に参加する
- ③ 各種検査や手術の見学・介助を行い、手技の理解や結果の解釈を行う
- ④ 二次救命処置（ACLS）を受講する
- ⑤ 各種のカンファレンスに参加する

【研修評価（Ev）】

- ① 自己評価：救急部門研修修了時に評価表による評価
- ② 指導医による評価：各科研修修了時に評価表による評価

【週間スケジュール】【救急診療科】

	AM	PM	カンファレンス
月	救急車対応 (ER) 外科系ウォークイン対応	救急車対応 (ER) 外科系ウォークイン対応	9:10～9:30 ER カンファレンス
火	救急車対応 (ER) 外科系ウォークイン対応	救急車対応 (ER) 外科系ウォークイン対応	8:30～9:00 研修医症例検討会
水	救急車対応 (ER) 外科系ウォークイン対応	救急車対応 (ER) 外科系ウォークイン対応	8:30～8:50 ER カンファレンス
木	救急車対応 (ER) 外科系ウォークイン対応	救急車対応 (ER) 外科系ウォークイン対応	8:30～8:50 ER カンファレンス
金	救急車対応 (ER) 外科系ウォークイン対応	救急車対応 (ER) 外科系ウォークイン対応	8:30～8:50 ER カンファレンス

※ 2カ月に1度：救急救命士との合同症例検討会
地域MC（メディカルコントロール協議会）

※ 必要に応じてシュミレーションセンターにて手技修得訓練

※ 毎週火曜日：名古屋掖済会病院救急医師による指導